

農業が魅力的だと、 社会はもっと豊かになる。

農作業で苦勞している母を助けたいという一粒の想い。それは病気に強く、多くの実をつける接ぎ木技術を育み、生産性向上と省力化を手助けする苗へと成長させることで、全国の生産者に支持されるようになりました。

農業のためになる、役に立つ事業に取り組むことで、農業を魅力的な産業に変えていきたい。

ベルグアースはこれからも新しい農業に挑戦し続けます。

[ベルグアースの事業領域]





接ぎ木苗生産 日本一

01.

■ ベルグアースの強み① | 収量が上がる、病虫害・連作障害に強い

ベルグアースが長年培ってきた技術の集大成。それが断根接ぎ木苗です。接ぎ木とは、植物の一部を切り離して別の植物とつなぎ合わせ、新しい植物を生み出す技術。断根とは、老化した根を切り若く強い根を再生させる技術。この2つの技術を駆使した「断根接ぎ木苗」を作ることによって、高品質でサイズの揃った

苗を生産することが可能になりました。キュウリ・トマト・ナスをはじめ、メロン・ピーマン・スイカ等、苗に応じた接ぎ方・ノウハウを持ち、ミリ単位で切断面や角度を調節。工業的手法を取り入れた工程管理と技術開発により、接ぎ木活着率99%以上という驚異的な数字を実現しています。

別々の植物の
良いところを
ひとつに



- 病虫害・連作障害に強い
- 環境に強い
- 収量が上がる
- 品質を変える

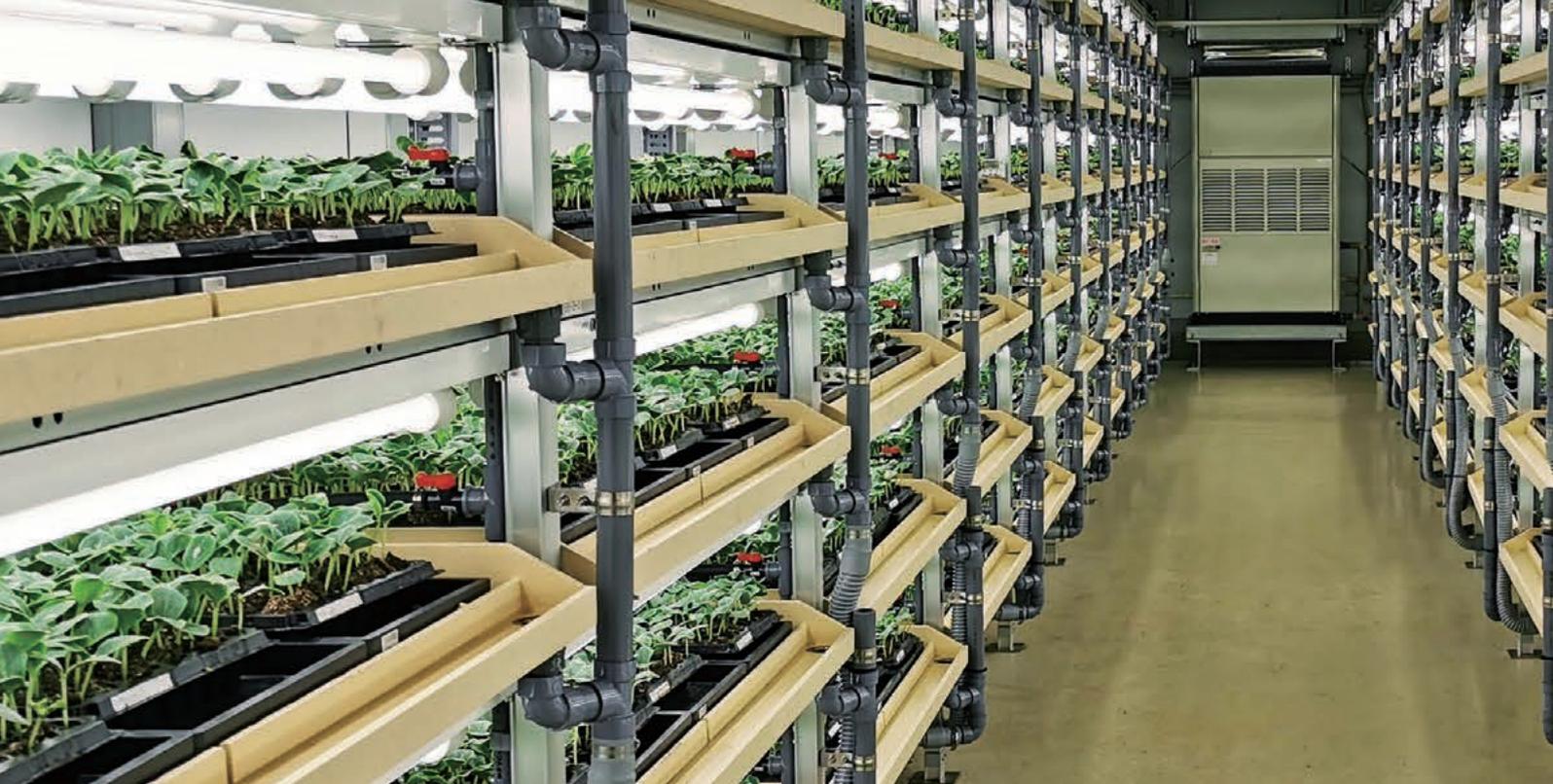
接ぎ木苗の特徴とメリット

おいしい果実を多く収穫できる植物と、丈夫で病気に強い植物といった別の植物をつなぎ合わせることで、双方の性質の長所を持ち合わせ、連作障害や病虫害に強く、低温伸長性に優れるなど、生産性が高く、育てやすい苗ができます。



※連作障害とは・・・同じ土で同じ種類の野菜を連作して育てると次第に育ちが悪くなること。特定の細菌やウイルスなどの病原体が土の中で増えてしまったり、土の中の栄養分を始めた物質のバランスが崩れることで発生します。

※低温伸長性とは・・・ある程度の低温であっても、正常に育つ性質。



日本最大級の閉鎖型苗生産システム。 02.

■ ベルグアースの強み② | 農薬を使わず、病害虫の発生がない

2006年、日本最大級となる閉鎖型育苗施設を建設。2015年に、その最新設備を備えたベルグ福島が完成。2021年には、本社農場にウリ科専用閉鎖型育苗施設を建設しました。閉鎖型苗生産システムとは、完全に外の環境から隔離された空間内で光・温度・CO₂・肥料・水などを人工的にコントロールし、最適な環境で苗を育てることができる設備です。その最大のメリット

は、病害虫の侵入を最小限に抑えられること。これにより農薬使用量を飛躍的に減らし、健やかで安全な苗をお届けすることが可能になりました。さらに、トマト第一花房着生葉位の低段化・生育のスピードアップ・アントシアニンの増加・茎の肥大などの効果があり、苗の安定生産と高品質を両立しています。

■ 閉鎖型苗生産システムのメリット



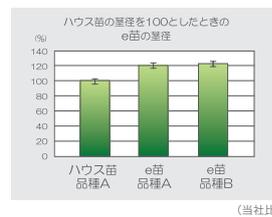
無農薬育苗

病害虫の侵入を防ぐ装置をはじめ作業スタッフの殺菌消毒や白衣の着用、タンク内や育苗棚の洗浄などの徹底により、完全無農薬での育苗を実現。



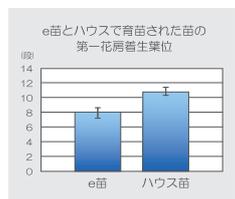
多量のアントシアニン

葉の裏に驚くほどのアントシアニンが出現。これは活発な光合成で多量の光合成産物が植物体内に存在することによるもので、健全な苗である証拠です。



茎の肥大

通常のハウス育苗と比較して茎径が約1.2倍も太くなることが確認されました。葉厚があり茎の毛も豊富、根もしっかりと張っています。



第一花房着生葉位の低段化

温度環境が制御可能なため、第一花房着生葉位がほぼ本葉7~9枚と一定になり、年中安定した収穫が可能です。



初期育成のスピードアップ

苗の育成に最適な環境整備によりハウス育成よりも光合成産物を効率よく植物体内に蓄積でき、初期生育が早くなります。



ベルグ福島(2015年 14基新設)



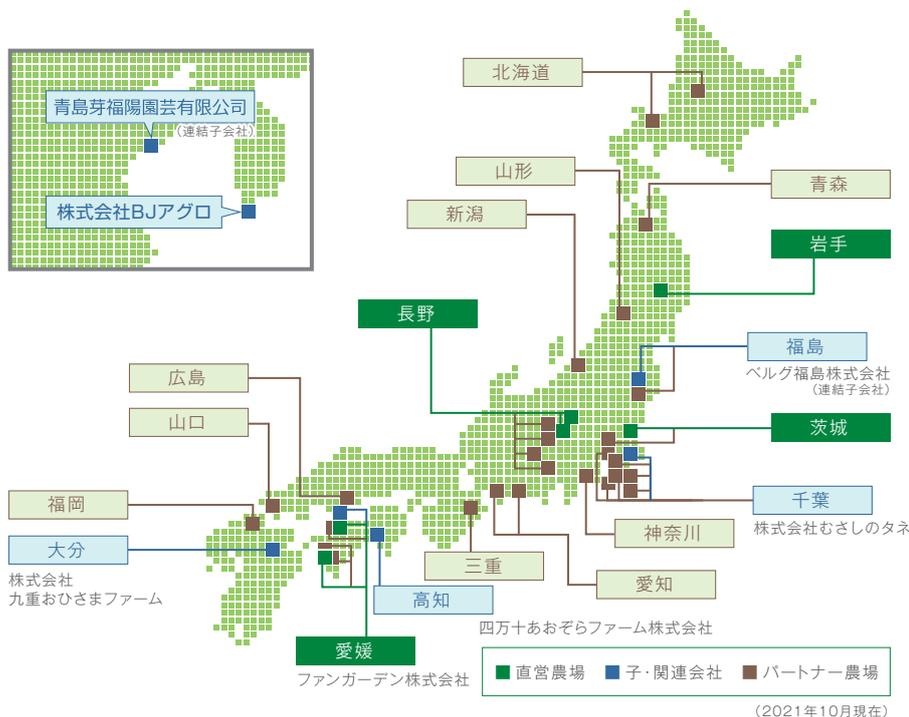


「より生産者様の近くで、よりきめ細かく」 03.

■ ベルグアースの強み③ | 生産・物流体制

最先端の育苗技術による接ぎ木苗を日本全国のお客様に届けるため、ベルグアースでは北は北海道から南は九州まで、日本各地に生産拠点を展開しています。これにより迅速な対応が可能になるだけでなく、苗の環境適応性を考慮し、お客様に近い場所で育苗することで、その土地に合った苗をお

届けすることができます。また、良い苗を作るために、ハウス設備・環境などにも細心の注意を払っています。すべてはお客様のために。定植後、元気に育つ苗をお届けするため、これからも拠点数の増加など、より生産者様の近くで、よりきめ細かな対応ができる体制づくりに取り組んでいきます。



ワクチン接種苗

モザイク病や萎凋症を防ぎます。

植物ワクチンを幼苗期に接種し、ウイルス病の症状を大幅に軽減する画期的な苗です。

ウイルスの種類から3種類(ZYMV・CMV・WMV)のワクチン接種苗をお選び頂けます。

アース50、9cmポット苗の2規格からお選びください。

品種は問わず接種することが可能で、収量性の高い品種をそのままお使いいただけます。



ウイルス病から植物を守ります。

「ワクチン接種とは」

弱毒ウイルス株を活用し、植物体に接種しておくことで、対応するウイルスによる病気を抑えることが出来る苗です。ウイルス病は、栽培における整枝作業などでも広がるリスクが高く、接種苗を利用するとその予防にも力を発揮します。

その防除効果は非常に高く、品種の特徴を損なわないため、対応しているウイルス病を防除できます。

ウイルス病を防除することにより、萎凋症の防止や病気による樹勢の低下を抑え、品種の特性を遺憾なく発揮します。



通常苗



ワクチン接種苗

ウイルスガード苗Z

モザイク病や萎凋症を防ぎます。

ワクチン「キューピオ※」を幼苗期に接種し、ズッキーニ黄斑モザイクウイルスに感染しても症状を大幅に緩和します。※(株)微生物化学研究所

キューピオはズッキーニ黄斑モザイクウイルス(ZYMV)弱毒株の水溶性剤です。キュウリの苗にあらかじめ接種しておくことで、アブラムシで媒介されるZYMVの感染によるモザイク病と萎凋症を防ぐことができます。この現象が動物の免疫反応とよく似ていることから、まさに「植物のワクチン」といえます。

日本植物防疫協会・生物農薬連絡試験では、生産者にとって最も重要視される発病果実と萎凋株の発生において、ワクチンの防除効果は極めて高いと評価されました。



通常株



ワクチン接種株

ウイルスガード苗CW

効果抜群。

2種混合ワクチン苗。

キュウリモザイクウイルス(CMV)、スイカモザイクウイルス(WMV)の弱毒株を混合接種し、同ウイルスによる樹勢の衰えを緩和します。



ウイルスガード苗CWとは

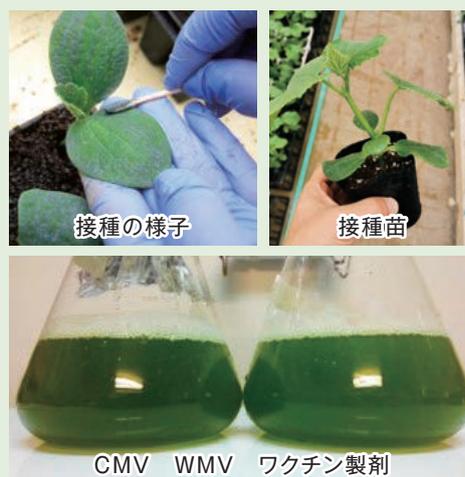
ウイルスガード苗Zと同様に、あらかじめ植物ワクチンを接種し、アブラムシで媒介されるCMVとWMVの感染によるモザイク症状と樹勢の衰えを防ぐことが出来ます。

CMV・WMVとは

CMVとWMVは複合感染することで被害を出しますが、ZYMVのように萎凋症や奇形果などは少なく、気付かずに被害が拡大していることがあるため、知らず知らず収穫期間が短くなっている可能性があります。

効果抜群!

2種混合ワクチン苗を利用して例年より1~2週間延長出来たという声が続々と上がっています。



ウイルスガード苗ZCW

ついに登場。

3種混合ワクチン苗。

ズッキーニ黄斑モザイクウイルス(ZYMV)キュウリモザイクウイルス(CMV)、スイカモザイクウイルス(WMV)の弱毒株を混合接種し、同ウイルスによる樹勢の衰えを緩和します。



アブラムシ媒介のウイルス対策の決定版!

苗に3種類のワクチンを接種しておくことで、アブラムシが媒介する3種モザイクウイルス全ての被害(萎凋症による枯死、奇形果、樹勢の衰え)を防ぐことが出来ます。

全ての接種苗効果を実感できます。

植物ワクチンは1種類に対して対象ウイルス1種であり、圃場での発生状況によっては他ウイルスによる被害が出てしまうケースがありました。年によって発生ウイルスも変化する中で、3種混合を使うことにより予防率が格段にUPします。露地栽培の決定版として3種混合ワクチンがお勧めです。



ツイン苗

地上部が2倍になることから、樹勢が強くなり過ぎず、初期のコントロールが比較的容易になります。

「ツイン苗」は、トマト苗を摘芯し2本仕立にした商品です。従来の1本苗に比べ種苗コストの削減が可能で、接ぎ木苗の導入負担を軽減できます。もちろん定植作業は半分に。また2本仕立にすることで初期の樹勢コントロールがしやすく、花芽も安定する特徴があります。



無農薬セル ツイン苗(二本仕立苗)

閉鎖型苗生産システムで無農薬生産し、子葉上を摘芯して2本の脇芽を利用するeナチュラルツイン苗です。子葉を利用しているので脇芽の揃いが良いガッチリとした高品質なツイン苗です。



定植らくらくアース ツイン苗(二本仕立苗)

本葉3枚目を摘芯し、第1本葉と第2本葉の脇芽を利用したアースストレート苗です。直接定植用もしくは鉢上げ用にご利用いただけます。ツイン苗は、定植本数が半分。これに定植らくらくのアースストレート苗を合わせれば、定植作業は簡素化できます。



大苗バッチリ定植ポット ツイン苗(二本仕立苗)

本葉3枚目を摘芯し、第1本葉と第2本葉の脇芽を利用したポット苗です。



コストカット

ツイン苗は安価。自根苗から接ぎ木苗への移行の際に種苗費の問題を解決できます。定植作業も半分に。トマト接ぎ木苗の購入をお考えの方は是非ご検討ください。

樹勢安定

ツイン苗は、地上部が2倍になることから、樹勢が安定して、初期のコントロールが比較的容易になります。

花芽安定

摘芯したトマト苗は、第一花房位置が上がりやすい夏場でも、比較的安定して花芽が付きます。



ヌードメイク[®] 苗

飛躍的な輸送コストの削減に成功しました。

ヌードメイク苗は、ベルグアースで接ぎ木ステージまで育苗。断根接ぎ木を行い、そのままの状態でお客様のところにお届けする商品です。この苗には根も土もついていないので、非常にコンパクトな輸送が可能です。ヌードメイク苗の輸送コストは、セル苗の20分の1、ポット苗の80分の1(ナス科での比較)にまで削減することができます。(当社比)



トマト苗



キュウリ苗



「接ぎ木苗を使いたいけれど、作業の手間や活着不良を考えると自家育苗では不安が残る」「苗の購入を考えているけれど、ポット苗やセル苗を購入するほどコストはかけられない」「自分好みの苗を育てたい」。そんなお客様の声から誕生したのがヌードメイク苗です。

接ぎ木苗は高度な接ぎ木技術を必要とするため、これまではお客様の環境に合わせた全国各地での生産が困難でした。

しかし、ヌードメイク苗は断根接ぎ木後、土・トレイ・ポリ鉢などに植え込んでいない状態の苗で、お客様の所でお好みに合わせて育てていただけます。さらに、輸送コストを極限まで削減し、全国各地のお客様の元へ長距離苗輸送が可能です。元気で揃いの良い接ぎ木苗をもっと多くの方に利用していただきたい。そんな思いから生まれ、年間約330万本ものヌードメイク苗が日本全国で使用されています。

アースストレート[®] 苗

夏場の暑い時期に活躍！
作業が1/2に省けます。

お客様の声から生まれたヒット商品です。最大の特徴は、根鉢を生分解性の不織布で包んだところ。そのまま植えられますので定植の手間がかからず、鉢から抜き取らないので根が痛む心配もありません。また、根鉢スペースも少なく輸送コストを大幅カット。土に還る生分解性の鉢なので廃棄ポットも出ず、出荷箱も全て紙製。環境志向のやさしい苗です。



アース50

■ 定植用

納品時の苗サイズは9cmポット苗と同等サイズでのお届けとなります。また、アース苗の最大メリットは作業性があること。実際に使用いただいているお客様からも「このアース苗での定植を体験すると、ポット苗には戻れない」と高い評価を頂いております。さらに定植後の活着スピードも速く、安定した生育が期待できます。



アースinロック

水耕栽培用の定植苗に
ジャストサイズ。

アースストレート苗がぴったり入る水耕栽培用のロックウールキューブです。

定植サイズとなったアースストレート苗をアースinロックへ入れるだけで定植作業が完了します。

水耕栽培の省力化とコスト低減を実現します。



アースinロックとは

アースinロックは、中央にアースストレート苗(アース50)専用径の穴が開いている、水耕栽培用のロックウールキューブです。

水耕栽培用の新たな定植苗

これまでの栽培では、プラグ苗を購入してキューブに鉢上げして大きくする、もしくは大苗を購入して定植するかのいずれかでの方法でした。



コスト削減とサイズアップを実現

プラグ苗では、お客様側で二次育苗をする手間とコストが発生し、大苗では育苗費とそれを運ぶ輸送コストが大きくなるデメリットがありました。アースinロックは、育苗労力と輸送コストを抑えつつ、定植サイズの苗から水耕栽培をスタートさせることができるジャストサイズな商品です。



e苗シリーズ

アントシアニンが、
元気な苗を育てます。

「e苗」シリーズは、本社農場とベルグ福島にある日本最大級の閉鎖型苗生産システムによりつくられる、画期的な次世代型の苗です。旺盛な生長力・無農薬育苗・花芽の低段化などのメリットが挙げられ、販売開始以来たくさんのお客様にご好評いただいています。



閉鎖型育苗が実現する、
無農薬栽培の苗。

「e苗」シリーズのアントシアニンについて About Anthocyanin

閉鎖型育苗の苗は、葉の裏に驚くほどのアントシアニンが現れます。通常のハウス育苗でストレスがかかった場合にもアントシアニンが現れますが、閉鎖型育苗の場合は光合成を活発に行った結果、多量の光合成産物が存在することにより現れるもので、健全な苗である証拠といえます。



eパワー128α

- 無農薬
- 定植用
- 実生苗

128穴セルサイズでありながら、即定植可能なサイズまで閉鎖型苗生産システムで育苗した実生トマト苗です。色が濃く、大きく分厚い葉、沢山の産毛、太い茎、しっかりした根鉢です。実生のセル苗でありながら、本圃への直接定植が可能。定植後約3週間で開花します。128穴セルでの生産で、本葉3.0枚のサイズでお届けします。

用途にあわせて
「eパワー」も
お選びいただけます。

eパワー

- 無農薬栽培
- 鉢上げ用
- 実生苗



eナチュレ128α

- 無農薬
- 定植用
- 接ぎ木苗

無農薬無病害接ぎ木苗の決定版です。セル苗でありながら、本葉枚数3.5枚以上の定植可能な大きさまで、閉鎖型苗生産施設で生産しました。「e苗」シリーズの中で最もハイレベルな技術を駆使した、収穫期間の延長に最適なフラッグシップモデルです。128穴トレイでの生産で、本葉3.5枚のサイズでお届けします。

用途にあわせて
「eナチュレ200」も
お選びいただけます。

eナチュレ200

- 無農薬栽培
- 鉢上げ用
- 接ぎ木苗



高接ぎハイレッグ[®] 苗

高接ぎ木法により青枯れ病を防ぐ効果を高めます。

本圃の青枯れ病菌濃度に合わせた2種類の高接ぎ木法があり、台木の耐病性と長さを合わせる事により、品種以上の効果を発揮します。

アース50、9cmポットの2規格からお選びいただけます。

※通常商品とは納品単位が異なります



高接ぎハイレッグ苗は台木品種の持つ青枯れ病菌の移行と増殖の抑制能力を最大限に活用し、穂木への感染・発病を抑制。接ぎ木部位が高いほど、高い抑制効果が期待できます。

接ぎ木部位は作型、品種、圃場の汚染程度、地域条件などを考慮して選択できます。

高接ぎ木をすることによって生育、収量への影響は作型や栽培地域に関わらず慣行接ぎ木と比較しても遜色ありません。

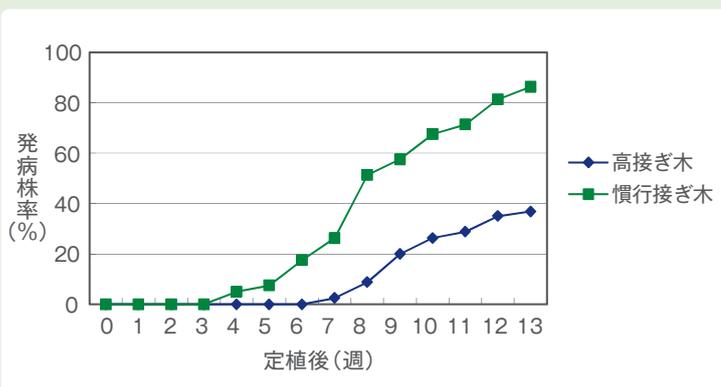
土壌消毒を実施している圃場でも、2作目は発病が増加するため、その際には圃場消毒と高接ぎ木と併用することによって防除効果は更に高まります。



新潟県ハウス圃場(2012年)半促成作型



左: 高接ぎハイレッグ苗
右: 従来の接ぎ木苗



ポット苗

こだわりのオリジナル培土で
丁寧に育てています。

苗に最適な培土で育てたポット苗。キュウリは本葉2枚、トマトは5枚程度までしっかり育てていますので、二次育苗の手間がなく、お届け後すぐに定植可能です。



土にこだわります

ベルグアースが開発したオリジナル培土を使用。用途やステージに合わせて最適な培土を選び、均一で安定した苗を育てています。

強さと元気を持っています

スペーシングを行い、しっかりと締まった苗に仕上げています。適度なストレスを与えることで、定植後も元気に育つ強さと体力を持った苗を育てています。

輸送を大切にしています

苗にとって、輸送は大きなストレスです。地域・季節に応じた梱包形態で、元気な苗をベストな状態でお届けしています。



セル苗

出荷前の挿し替え作業で、
さらに良質な苗に。

キュウリは本葉0.5~1.0枚、トマト・ナスは2.0~3.5枚程度まで育てていますので、鉢上げ後もすぐに根を張り、二次育苗も簡単。強く元気な苗がおいしい野菜を实らせます。



発根がスムーズ

断根接ぎ木後にセルトレイへ植え込むことで根の老化を抑制。根巻も少なく定植後の発根がスムーズです。

お好みのサイズで出荷

サイズは72穴・128穴を主に、200穴・288穴と4種類。お客様の育苗計画に最適なサイズで出荷します。

均一な苗をご提供

断根接ぎ木により胚軸が短く揃いコンパクト。出荷前の挿し替えの一手間で、より均一な品質の苗をご提供しています。



商品索引

●オリジナル商品		
ウイルスガード苗 (ワクチン接種苗)	ウイルスガード苗Z	ZYMVズッキーニ黄斑モザイクウイルスから守ります。
	ウイルスガード苗CW	2種混合ワクチン苗、CMV・WMVから守ります。
	ウイルスガード苗ZCW	3種混合ワクチン苗。露地栽培のワクチン接種苗決定版。
ツイン苗 (二本仕立苗)	9cmポットツイン苗 アース50ツイン苗	摘芯二本仕立てで樹勢も花芽もさらに安定。種苗コストを大幅削減、定植作業も半分に。
ヌードメイク苗		接ぎ木苗の低価格決定版。根なし、土無し、輸送コストも大幅削減。
アースストレート苗	アース50苗	地球にやさしく、楽しんで結果。定植作業を大幅軽減。
e苗 (閉鎖型育苗)	eナチュレ苗	閉鎖型育苗の接ぎ木苗。安定・安心・無農薬。
	eパワー苗	閉鎖型育苗の実生苗(自根苗)。安定・安心・無農薬。
高接ぎハイレグ苗	HL苗	青枯れ病を防ぐ効果を高めます。
アースinロック	アース50苗+専用ロック	水耕栽培用の丁度いいジャストサイズ苗。輸送コスト・種苗コストを低減します。
●基本商品		
セル苗	288穴~72穴	出荷前の差し替え作業で、さらに良質・均一な苗に。
ポット苗	9cm・10.5cm	こだわりのオリジナル培土で丁寧に育てています。

苗の生産から出荷まで

From Production to Shipment



研究室



育苗のプロの経験・勤と、研究者の技術・知識を融合し、新技術の開発・育苗技術の向上・病害虫防除の方法などを研究しています。

一粒万倍を願い、苗に寄り添い、生長を見守る。

播種・接ぎ木された苗は、全国の生産拠点で二次育苗されます。

一次育苗



播種から接ぎ木までの穂木・台木の一次育苗を行っています。この工程で、元気な苗を提供するための基礎が築かれます。播種では、独自に開発した品目別の培土を使用。専任の播種担当者が生産計画に基づいて播種を行っています。一次育苗ハウスでは、敏感な若い苗を病気や害虫などのリスクから守り、丈夫で接ぎ木しやすい苗に育てることを目指します。苗づくりに完璧はなく、状況を見極める観察力が必要不可欠。一人ひとりが良い苗づくりを常に意識し、高めあうことを心がけています。

二次育苗



接ぎ木後の二次育苗から、出荷までを行っています。接ぎ木直後の苗は、とてもデリケート。また、苗の栽培は季節・天候にも大きく左右され、一年中同じ品質の苗をつくることはとても困難です。だからこそ、それぞれの課員がプロ意識を持ち、自信を持って送り出せる苗づくりを志しています。接ぎ木苗の出荷量は、多い時期では1日30万本を超えます。良い苗を選別し、箱に詰め、お客様のもとへ無事に届くよう、毎日苗を送り出しています。



Appeal Point

苗づくりは変化の連続。季節・天候・品種・育苗段階によって、苗の表情は毎日変わります。栽培方法も日々異なり、品種もどんどん改良され増えていきます。書物や人だけでなく、苗から教わるのが驚くほど沢山あります。

栽培部門は、マッチョな男性陣と、それを先導するしっかり者の女性陣の絶妙なバランスで成り立っています。



接ぎ木部門

世代を問わず女性が活躍できる職場づくりが、独自技術の原点。

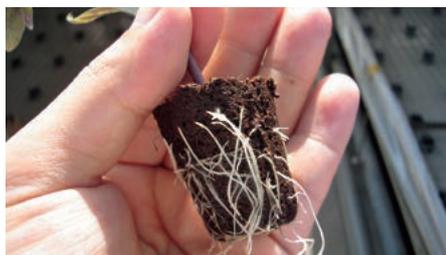
「断根接ぎ木」により、連作障害や病害虫に強く、生産性に優れた、育てやすい苗が生み出されます。

接ぎ木手順



- ① 台木の上部分を切除
- ② 接木チューブをセット
- ③ カットした穂木を用意
- ④ 接ぎ合わせて完成

断根 根に力を付け苗を若返らせる



一度根を切り落とすことで、新しく元気な根がたくさん出てきます。

断根とは、一度根を切り新しい根を発生させる技術です。新しく出る根は、若く元気で本数も多く、苗自体に活力を持たせることができ、また、苗質を揃えることもできます。

◎根が若い：古い根を切り新たな若い根を発生させることで、苗自体の年齢が若返り元気になります。

◎根が強い：直根を切ると、数日で新しい根が3~5本出てきます。この新しい根は1本1本が直根と同じくらいの太さと力を持っているので、根に力強さを持たせることができます。

◎苗が揃う：一度根を切ることで、それまでの苗の性質をリセット。品質の揃った良い苗ができます。



Appeal Point

接ぎ木をすればするほど接ぎ木スピードが増す。上手くなるよう意識すればするほど上達する。毎日の作業なので、自分次第でどんどん技術を磨くことができます。ですから、苗の一本一本を大切に、常に緊張感を持って仕事に取り組んでいます。接ぎ木苗日本一の会社の社員として、仕事に誇りを持っています。



多様なオーダーメイドに対応し、できるだけお客様の近くで生産する。

生産量の柔軟な調整はもちろん、品質管理・輸送コスト軽減も重要な役割です。

生産管理システム

生産・販売管理部門の役割は、全ての苗情報をシステムで管理し、確実にお客様のもとへお届けすることにあります。

そこで、ベルグアースでは、生産の計画・分析はもちろん、リアルタイムな在庫管理・出荷管理・農業履歴管理など、苗生産をあらゆる面からサポートできる最先端の生産管理システムを独自に開発しました。インターネットへの苗情報公開など、お客様と生産現場をつなぐツールとして、進化し続けていきます。

委託管理システム

全国各地に展開する生産拠点で生産された苗は、ベルグアースの苗として出荷されます。どの農場からでも高品質の苗を出荷するためにつくられたのが、委託管理システムです。刻々と変化する苗の状態や数をリアルタイムで把握。どの農場のどの苗を出荷するのが最適かを判断します。生産管理システムに入力された生産情報は各提携先に送られ、正確な出荷作業が行われます。農場が遠く離れていても全ての苗情報を管理することができる。それがこのシステムの強みです。

WEB在庫公開

生産されている苗情報を公開し、お客様がいつでも苗を購入できるシステムを整備。実際の農場のリアルタイムな苗情報を公開することで、お客様自身でご希望の苗を探していただくことができます。

農業履歴システム

各生産段階で散布される農薬を生産履歴として管理。納品時に「なにを・いつ・どのくらい」使用した苗かを農業使用履歴として正確にお客様にお届けいたします。



生産管理課・販売課（茨城）



生産管理課・販売課（愛媛）

研究・技術開発部門

農業の未来を切り開き、新たな技術を開発する。

日本最大級の閉鎖型苗生産システムも、ここから生まれました。

苗に特化した技術開発

ベルグアースが有する研究・技術開発部門。ここでは、苗にこだわった研究に取り組んでいます。閉鎖型苗生産システムを中心に、苗貯蔵システム、事前順化システムなど、次世代の接ぎ木苗生産を提案するべく、これまでの苗生産技術を活かし、独自の研究を推し進めています。苗の未来のために、日本の農業の明日のために。苗生産の未来を切り開く技術がここにあります。



新しい閉鎖型栽培装置の開発



日本トップクラスの鉄鋼・光源・空調・分析企業と当社の5社連携で、従来設備より30%コストダウンを目指した低コスト完全人工光栽培装置を開発中です。

主にLED光源を用い、野菜苗の育苗はもちろん、機能性野菜（葉菜類中心）の青果物栽培を目的としています。

植物工場用の苗開発／独自の栽培システム

■ 植物工場用の苗開発

近年のトマト栽培は設備の高度化が進み、一部で太陽光利用型植物工場による多収生産が行われるようになってきました。当社は、これら長期多段型・低段密植型の「植物工場に適した苗」を、愛媛大学の植物工場プロジェクトである「愛媛大学植物工場実証・展示・研修センター（南レクアグリパーク）」で研究・実証に取り組んでいます。

■ 独自の栽培システム

当社では、太陽光利用型植物工場で低段密植栽培の技術確立に取り組んでおり、独自の栽培システムである「低段密植ポット栽培」の研究と実証を進めています。

低段密植栽培は、1年間に複数回の定植を行い、通年でトマトの密植栽培を行う日本独自の栽培方法で、苗質の安定性が栽培の成否を決める重要な役割を果たします。当社の苗生産技術を活かした高度な苗生産だからこそ実現できる低段密植栽培。日本の栽培技術とベルグアースの栽培技術で、新しい農業の可能性を切り開いていきます。



営利農家と家庭園芸のお客様へ。

コア事業の野菜苗はもちろん、農業資材の販売や栽培・加工・流通のご相談も承ります。

苗事業

◎愛媛 営業部

西日本エリアをカバー、愛媛本社と大分に拠点を
おいています。

◎茨城 営業部

東日本エリアをカバー、長野、茨城の直営農場に
拠点をしています。

◎千葉 特販部

全国の量販店をカバー、千葉の長南農場に拠点を
おいています。



資材・農産物事業

◎資材販売

農産物の生産に必要な様々な
資材を提案・販売しています。



クリスマス・トマトツリー◎



藤田智先生監修培養士
「藤田先生の野菜畑」◎



味の素株式会社
共同開発肥料「早根早起」◎



Appeal Point

営業スタッフが取り扱うの
は苗が中心ですが、生きて
絶えず状況が変化している
ものを扱っているという
観点でいえば、ハードで
なくソフトを販売している
感覚があります。ですから、
品質の高さと安定性の確保
はもちろん、お客様の生産
目標や嗜好までしっかり
汲み取ることを心がけて、
営業に取り組んでいます。

海外事業部門

中国市場における新たな取り組みと事業創出

中国・韓国市場における農業関連事業

中国においては、様々な可能性のある農業関連市場における事業展開を見なおす必要性があります。単独での野菜苗事業を中止し、中国企業との業務提携による育苗事業展開、中国における肥料販売を中心とした農資材事業等の新たな事業創出への転換を図ります。また、韓国においては、現地の合弁会社を軸に、肥料、種を中心とした農資材の日韓双方への輸出入に注力してまいります。これらを足掛かりに、今後アジア全域で苗、種子の生産・販売、関連資材の販売を拡大していきます。

主な取り組み

- 中国青島芽福陽園芸有限公司での農資材事業を中核とした事業展開及びベルグアース「育苗事業」の知見を活かした農業事業コンサルティング、中国企業との業務提携による新たな事業を創出。
- 韓国BJアグロでのOATアグリオ株式会社の肥料販売及び野菜苗の委託生産と日本への輸入。

育種事業部門

野菜苗事業との相乗効果。

高品質な種苗の新品種を開発・販売します。

株式会社むさしのタネ

2017年8月に育種事業の新会社「むさしのタネ」(千葉県長南町)を設立しました。苗事業との相乗効果を狙い、種苗開発から取り組むことにより付加価値の高い苗を供給。今後は耐病性・多収性などを兼ね備えた種苗の新品種を開発し・販売拡大に取り組むと共に国内外を視野に入れ、新たに店頭育種事業の拡大にも取り組んでまいります。

海外展開も視野に入れた育種開発

野菜の生産者は多収性、耐病性、育てやすさなどを踏まえ扱う品種に非常に価値を置いています。その期待に応えられる品種を持つこと、当社にしかない苗の品ぞろえを強化することによって付加価値の高い苗の提供に取り組んでまいります。また、種苗メーカーとも連携を図りながら「より良い苗をより安く」を実現していきます。耐病性に優れ、味もおいしいトマトの品種の取り扱いを開始します。今後は、中国でも感染が拡大している黄化葉巻病に着目し、中国にパートナー農場を持つ利点を生かしてより耐病性に優れた品種を開発します。

